

具志川市史編集資料10

アルゼンチン・ウルグアイ移民資料

前堂盛松日記

〈下〉

付 在亜具志川村人会記録簿

1926年～1941年

具志川市教育委員会
教育部市史編さん室

発刊にあたって

前堂盛松日記〈下〉を市民の皆様にお届けいたします。

当室では、初め、この日記の持つ移民資料としての第1級の価値は十分認識した上で、果たして他人の書いた日記をどれだけ市民の皆様が購入し、読んでいただけるのか、と心配する声もありましたが、平成8年3月に同日記〈上〉を刊行いたしましたところ、琉球新報、沖縄タイムスのマスコミ二紙に取り上げられ、市内外から大きな反響がありました。予想以上の購入申し込みに急きょ300部増刷して対応するという、嬉しい悲鳴を上げました。

読まれた方々に感想をお聞きいたしましたところ、移民先のウルグアイにおける前堂氏の生活が決して恵まれたものではないのに、困っている人から頼まれるとお金の工面や身元引受人など実に面倒見がいいという奇特な人柄や沖縄に残した我が子に対する父親としてのあふれんばかりの情愛、老母を気づかう息子としての立場、妻を思いやる夫、ウルグアイで生まれた子ども達への子煩悩ぶり等が日記の端々からうかがえ、時代を実直に生き抜いた前堂氏の姿勢に共感と感動を覚える、ぜひ続きも読んでみたいとの声が多く寄せられました。改めてご協力を賜りました皆様方に厚くお礼申し上げます。

前堂盛松（1898～1958）日記は前堂氏の生い立ちを記した自叙伝と昭和12年から同24年までの日々の様子を記したものでありますが、予算等の都合により前回刊行したのは昭和18年までのものであり、その続きの本書は昭和19年から同24年までの6カ年間の日記となっております。

日本が第二次世界大戦に負ける前年から戦後4年の頃の事がこの日記の内容となっております。本書の刊行により、前堂盛松日記は完結するわけですが、日記〈上〉に引き続き多くの方々に読まれ、活用されますことを願って止みません。

この貴重な日記をご提供賜りました山本多恵子様はじめご遺族の皆様を重ねて御礼を申し上げますとともに、スペイン語の意味やスペル等いろいろご教示をいただきました真栄平作真ご夫妻と諸見里ダニエル氏に厚く感謝を申し上げます。

皆様には今後とも資料や情報の提供など具志川市史編さん事業にご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成10年3月

具志川市史編さん室

目次

発刊にあたって

目次

凡例

目次

昭和19年	1
昭和20年	19
昭和21年	37
昭和22年	41
昭和23年	48
昭和24年	63

スペイン語訳

付録

在亜具志川村人会記録簿	87
1926年～1941年	
新聞記事	

あとがき